

カルバート補修調査設計業務委託歩掛新旧対照表

改定後	改定前								
<p style="text-align: center;">カルバート補修調査設計業務委託内訳書</p> <p>カルバート補修詳細設計 設計内訳書 略 ※ 略 ※ 略 ※その他原価及び一般管理費等は、業務関係標準積算基準 設計業務 土木設計等積算基準に準じて計上すること。 ※電子成果品作成費は、業務関係標準積算基準 設計業務 土木設計等積算基準 電子成果品作成費の概略設計、予備設計又は詳細設計に準じて計上すること。</p> <p>カルバート補修詳細調査 調査内訳書 略 ※ 略 ※ 略 ※ 略 ※諸経費率は、業務関係標準積算基準 地質調査業務 地質調査積算基準に準じること。 ※電子成果品作成費は、業務関係標準積算基準 地質調査業務 地質調査標準歩掛等 機械ボーリング 電子成果品作成費に準じて計上すること。</p> <p>面積補正係数 略</p> <p>単価表（詳細設計） 略</p> <p>単価表（詳細調査） 単価表 12～28 略</p> <p>単価表 29</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">区分</td> <td>1 試料あたり（円）</td> </tr> <tr> <td>膨張量試験</td> <td style="text-align: center;"><u>県単価</u></td> </tr> </table>	区分	1 試料あたり（円）	膨張量試験	<u>県単価</u>	<p style="text-align: center;">カルバート補修調査設計業務委託内訳書</p> <p>カルバート補修詳細設計 設計内訳書 略 ※ 略 ※ 略 ※諸経費率は、土木設計業務を使用すること。</p> <p>新規</p> <p>カルバート補修詳細調査 調査内訳書 略 ※ 略 ※ 略 ※ 略 ※諸経費率は、地質調査業務を使用すること。</p> <p>新規</p> <p>面積補正係数</p> <p>単価表（詳細設計） 略</p> <p>単価表（詳細調査） 単価表 12～28 略</p> <p>単価表 29</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">区分</td> <td>1 試料あたり（円）</td> </tr> <tr> <td>膨張量試験</td> <td style="text-align: center;"><u>見積もり</u></td> </tr> </table>	区分	1 試料あたり（円）	膨張量試験	<u>見積もり</u>
区分	1 試料あたり（円）								
膨張量試験	<u>県単価</u>								
区分	1 試料あたり（円）								
膨張量試験	<u>見積もり</u>								

カルバート補修調査設計業務特記仕様書（案）

1. ～ 2. 略

3. 作業内容

3. 1 カルバート補修詳細調査

1) ～ 10) 略

11) 中性化試験

採取コアを用いてフェノールフタレイン法により、コンクリートの中
性化深さを測定する。

12) 圧縮強度試験

採取コアを用いて、コンクリートの圧縮強度を確認する。

13) 静弾性係数試験

採取コアを用いて、コンクリートの静弾性係数を確認する。

14) 塩分含有量試験

採取コアを切断して、深さ方向におけるコンクリート中の塩分含有量
を確認する（5 スライスを基本とする）。

15) 膨張量試験

採取コアを用いて膨張量試験を行い、アルカリ骨材反応の今後の進展
を推測する。

16) 試験方法

11) から 15) の試験に当たっては、日本工業規格または（公社）日本
コンクリート工学会基準の該当する最新の基準によることを基本とす
る。

以下 略

カルバート補修工事「詳細調査設計業務」特記仕様書（案）

1. ～ 2. 略

3. 作業内容

3. 1 カルバート補修詳細調査

1) ～ 10) 略

11) 中性化試験

採取コアを用いてフェノールフタレイン法により、コンクリートの中
性化深さを測定する。

試験方法は、JIS A 1152 を基本とする。

12) 圧縮強度試験

採取コアを用いて、コンクリートの圧縮強度を確認する。試験方法は、
JIS A 1108 を基本とする。

13) 静弾性係数試験

採取コアを用いて、コンクリートの静弾性係数を確認する。試験方法
は JIS A 1149 を基本とする。

14) 塩分含有量試験

採取コアを切断して、深さ方向におけるコンクリート中の塩分含有量
を確認する（5 スライスを基本とする）。試験方法は JIS A 1154 を基本
とする。

15) 膨張量試験

採取コアを用いて膨張量試験を行い、アルカリ骨材反応の今後の進展
を推測する。試験方法は JCI-DD2 を基本とする。

新規

以下 略